

3 密対策を講じた集団健診対応



藤沢市子ども青少年部子ども健康課 阿部 進

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策については、各自治体での健診や医療機関などで様々な工夫をされていることと思います。藤沢市でも1歳6か月児・3歳6か月児健診を集団で行っていますが、その対応策について紹介させていただきたいと思います。

本市では感染が拡大し始めた3月の集団健診の案内の中で、期間内であれば受診時期を遅らせることができる旨を対象者にお知らせしてきました。4月に緊急事態宣言が発令され、集団健診はすべて中止となり、その後宣言は5月末まで延長されることとなりました。この時点で総理大臣からは「これ以上の延長はない。」との発言があり、6月の集団健診再開の準備に入りました。

3密対策として、まず、1回の受診対象者を減らしました。宣言前までは1回につき約80人のお子さんが対象でしたが、60人前後まで減らすことにしました。また受付時間を3つほどに細分化し、待合スペースもいまままで使っていなかった別フロアも使い2段階の待合スペースを確保しました。

健診スペースについてはそれまで約400㎡の一部屋を順路順に区切り、問診コーナー、健診コーナー、計測コーナーなどに分け、流れていくイメージで実施し、広いスペースではありますが多い時で30人ほどのお子さんがそれぞれのコーナーで健診を受けていました。現在は同じスペースを3部屋に分け、それぞれにスタッフ、医師、歯科医師を配置し、1スペースには最大4～5人の受診者の入場とし、人と人の距離を保つとともに、受診者の健診時間の短縮に努めました。換気については、窓を基本的に開けていますが、空調の効果が得られにくいこともあり、15分から20分おきに換気を行っています。従事者は全員フェイスシールド・マスクを着用し、防護服についても希望する医師・歯科医師には着用してもらっています。また、保護者の方にはマスクの着用をお願いするとともに、受付時に必要に応じ検温を実施しています。

なお受診者数につきましては、3月に受診を控えた方、4月5月と2か月の健診中止に伴う未受診者は700名以上となりましたので、必然的に健診の開催回数を増やさなくてはならない状況になっています。このような状況がいつまで続くのかわかりませんが、今できること、やらなければならないことを医師会や歯科医師会などの協力をいただきながら、スタッフ一同知恵を絞って感染拡大防止に努めていきたいと考えています。